

今後の市立幼稚園のあり方検討に係る諮問について

今後の市立幼稚園のあり方検討については、令和4年度に「市立幼稚園のあり方検討ワーキング会議（内部会議）」において、様々なデータ等の調査・分析、現状把握、課題の整理を行いました。

この度、ワーキング会議で整理した課題等をもとに、幅広い視点により検討するため、有識者や地域選出者等で構成され、教育政策の根幹を審議する「出雲市教育政策審議会」（第1回 7月24日開催）において、「今後の市立幼稚園のあり方について」を審議いただくよう諮問しました。

併せて、出雲市子ども・子育て会議での意見聴取や保育所・幼稚園を利用する保護者に対しアンケート調査を実施し、保育及び幼児教育のニーズの把握・分析をしてまいります。

【諮問後の予定】

- ①出雲市教育政策審議会において審議（4～5回程度）
- ②市長への答申（令和6年2月頃予定）

保 幼 第 5 6 0 号
令和5年(2023) 7月24日

出雲市教育政策審議会
会長 片 寄 進 様

出雲市長 飯 塚 俊 之

諮 問 書

出雲市は、令和4年2月に策定した「出雲市教育大綱」のなかで、「幼児期は、学びに向かう力を育む重要な時期であり、就学前教育の充実に努めます。」とし、これを重点目標として市立幼稚園を中心に幼児教育行政を進めています。

しかしながら、少子化の進行や世帯の就労状況の変化による保育需要の増加により、幼稚園の園児数は減少の一途をたどり、集団生活の場での教育について、十分な効果をあげることが難しい園も見受けられる状況にあります。

市立幼稚園において、質の高い幼児教育の提供の維持、効果的な集団教育・保育を実践するため、そのあり方について、幅広く検討し、具体的方向性を示すことが必要です。

つきましては、下記の事項について諮問いたしますので、ご審議のうえ、答申していただきますようお願い申し上げます。

記

1 今後の市立幼稚園のあり方について